

目 次

〔原 著〕

- | | | | |
|-------------------------------------|-----------------------|-----------------------------------|-------|
| 1. 上顎癌組織の LDH isozyme について | 慶大・医科
耳鼻咽喉科 | 鈴木安恒・三宅浩郷
坂本裕・橋本啓介
笠木正勝・小林力 | …(1) |
| 2. セルローズアセテート電気泳動法による微量 RNA の塩基組成決定 | 新潟大・医・生化学
新潟大・理・化学 | 田中童夫
常木孝男・菅野浩 | …(9) |
| 3. ディスク泳動法によるアルドラーゼの分画と活性染色法 | 山口大・医・生化学 | 竹尾和典 | …(15) |

〔第 19 回電気泳動学会総会講演抄録〕

- | | | | |
|--|--------------------------------|---|-------|
| 1. 肝 catalase isozyme に関する研究
一等電点分画法による分画成績を中心として | 札幌医大・癌研・内科 | 福田守道・佐々木喬敏
三比和美・名取博
漆崎一朗 | …(21) |
| 2. β -N-Acetylglucosaminidase の研究, 特にその isozyme について | 昭和薬大・臨床生化学
東京医歯大・中検・生化学 | 岸浪菊江子
坂岸良克 | …(22) |
| 3. ピロフォスファターゼのアイソザイムに関する研究 | 東京医歯大・中検・生化学 | 坂岸良克・早川巖
芝燁彦 | …(24) |
| 4. 頭頸部悪性腫瘍の血清 LDH アイソザイムについて | 慶大・医・耳鼻科 | 鈴木安恒・三宅浩郷
坂本裕・橋本啓介
小林力 | …(26) |
| 5. 頭頸部悪性腫瘍の組織 LDH アイソザイムについて (第 2 報) | 慶大・医・耳鼻科 | 鈴木安恒・三宅浩郷
坂本裕・石倉幹雄
橋本啓介・小林力 | …(27) |
| 6. 同上 (第 3 報) | 慶大・医・耳鼻科 | 鈴木安恒・三宅浩郷
坂本裕・石倉幹雄
橋本啓介・小林力 | …(28) |
| 7. 神経系 LDH アイソザイムの研究, DFP (diisopropylfluorophosphate) の影響について | 慶大・医・神経科 | 伊藤 斉・三浦貞則
浅香 富允 | …(28) |
| 8. 甲状腺諸疾患における甲状腺組織の LDH isozyme について (補遺) | 日赤中央病院・第 2 外科
東京医歯大・医心研・生化学 | 尾見安朗・太中弘
阿南 功一 | …(29) |
| 9. 血清 amylase isozyme の測定 | 東京女子医大・中検 | 長内マサコ・小峰仙一 | …(31) |
| 10. 軟体動物 amylase isozyme の電気泳動的研究 | 富士見高校
東京学芸大・生物学 | 佐藤文機
井上 勤 | …(32) |
| 11. 軟体動物の amylase isozyme の研究 (V) 特に corbicula 属の amylase isozyme について | 東京学芸大・生物学 | 井上 勤 | (33) |
| 12. 動植物組織抽出液中のアルドラーゼのアイソザイムについて | 山口大・医・生化学 | 竹尾和典・青柳竜平
緒方 幡典・奥田義博
中村正二郎 | …(33) |
| 13. 赤血球内酵素及び血清型因子の多型現象について | 京都府立医大・第 3 内科 | 中井哲郎・金沢 弘
渡辺稔夫・藤森 英麿
竹林政史・渋谷 幸雄
斉藤隆治・石丸 寿
竹中貞信・山本 学
細川計明・藤木 典生
増田正典
保田弥寿彦
阪田 宣彦 | …(34) |

- | | | |
|--|---------------------------------|---|
| 14. ヒト尿中 β -naphthylacetate esterase に関する研究 | 名大・医・山田内科 | 沢木 俣二・山田 弘三…(36)
服部 尚興・森川 訓行 |
| 15. アクリルアミドゲルを用いた免疫電気泳動法の基礎的検討 | 東京医大・細菌血清学 | 鈴木 達男・中川 秀子…(38) |
| 16. 急死屍血の免疫電気泳動法による分析(続報) | 名大・医・法医学 | 不破 一郎・早川 正義…(38)
古田 莞爾 |
| 17. 免疫拡散板を用いた血清蛋白定量に関する研究, 第2報: 拡散板 (α_1 -antitrypsin, haptoglobin, α_2 -macroglobulin) の検討とその正常値 | 京都府立医大・臨床検査
京都府立医大・第1内科 | 福井 巖・宮谷 勝明…(39)
吉田 秀雄・井出 雅之
沢重 瑩二・大久保生男 |
| 18. Single radial immunodiffusion による抗体価の測定 | 東大・医・血清学 | 成内 秀雄・白井美津子…(41)
松橋 直 |
| 19. 種々の患者血清の寒冷沈降性の検討 | 東大・医・血清学 | 白井美津子・成内 秀雄…(43)
松橋 直 |
| 20. ラットの免疫について(第II報)
—担癌ラットの抗体産生について— | 佐々木研 | 長瀬 すみ・多賀 弘子…(46) |
| 21. マウス血清蛋白質に関する研究
—系統・週令別の各分画正常値の検討— | 東京慈恵医大・阿部内科 | 斉藤 裕子・鈴木 啓司…(50)
佐々木勝久・橋本 信也
阿部 正和 |
| 22. 競走馬における正常血清蛋白分画値について | 競走馬保健研 | 亀谷 勉・山岡 貞雄…(51) |
| 23. 沔紙法と cellulose acetate 法による血清の泳動分画の相異 | 国立遺伝学研
生化学遺伝 | 小川 恕人 …(52) |
| 24. 新しい cellulose acetate 膜, Serometrics と Sartorius について | 国立遺伝学研
生化学遺伝 | 小川 恕人 …(55) |
| 25. Cellogel および polyacrylamide gel disc electrophoresis における cholinesterase 証明法の検討 | 神戸大・医・第1内科 | 黒瀬 均二・川森 一憲…(56)
河合 喜孝・稲留 哲也
森 淑子・北川 博之
依藤 進・友松 達弥 |
| 26. 結晶アルギナーゼ標品のディスク泳動法による分析 | 山口大・医・生化学 | 中村正二郎・竹尾 和典…(58)
緒方 幡典・鈴木 亮輔
桑原 亮 |
| 27. 寒天電気泳動法によるリボヌクレオチドの微量分析 | 東京医歯大・教養 | 島尾 和男 …(58) |
| 28. 人大動脈の多糖体-蛋白複合体の免疫化学的研究(第1報) | 久留米大・医・臨床病理 | 木本 英治・秋山 和子…(61)
野口 圭明・倉成 隆代 |
| 29. 人の子宮頸部酸性多糖体の分析(第2報) | 日本医大・産婦人科 | 大川 了沆・大川 公康…(62) |
| 30. 動脈壁酸性ムコ多糖類 (AMPS) のポリアクリルアミドゲル泳動について | 東京医歯大・医心
研・生化学 | 阿南 功一・保崎 清人…(65)
巨田 康祐・阿部 喜代司 |
| 31. 胃癌患者の血清遊離アミノ酸像(第3報) | 新潟大・医・第1外科
県立ガンセンター
新潟病医院 | 武藤 経一・丸田 宥吉…(67)
赤井 貞彦・島田 寛治
小島 光恵 |
| 32. Polyacrylamide gel 電気泳動法による胃液中の蛋白質についての研究(第1報) | 広島大・医・第1内科 | 木村 文聰 …(68) |
| 33. 胃組織および胃液蛋白質の免疫化学的ならびに電気泳動的研究 | 札幌医大・第1内科 | 前田 貫・中西 浩二…(70)
谷内 昭・安斎 哲郎
和田 武雄 |
| 34. 人胃液内因子および内因子抗体の gel 沔過法および等電点分画法による分析知見 | 札幌医大・癌研・内科 | 福田 守道・山本 厚子…(70)
名取 博・漆崎 一朗 |
| 35. セルローズアセテート膜を用いた免疫グロブリンの簡易定量法(その3) | 慶大・医・五味内科 | 五味 二郎・青柳 昭雄…(72)
小穴 正治・河合 健
山田 淑几・山田 幸寛 |
| 36. 小児諸疾患における各免疫グロブリン値 | 日大・医・小児科
日大・医・臨床病理 | 吉川 弓夫・稲名 市郎…(72)
河合 忠・山岸 安子 |
| 37. ヒト腎移植における免疫グロブリンの変動(Immunoplate 法) | 慶大・医・泌尿器科 | 大越 正秋・田崎 寛…(73)
高瀬 雄一・長谷川 昭
松下 一男・島 亮
大沢 炯 |
| 38. 腎疾患患者の血清免疫グロブリン値 | 新潟大・医・第2内科 | 木下 康民・斉藤 秀晃…(74)
近藤 有好・杉山 弘道
黒羽 昭夫・高頭 正長 |

- | | | |
|--|--|--|
| 39. 腎疾患における蛋白クリアランス (ネフローゼ症候群を中心に) | 新潟大・医・第2内科 | 木下 康民・斉藤 秀晃…(75)
杉山 弘道・黒羽 昭夫
鈴木 文孝 |
| 40. 腎疾患と β_{1A} グロブリン | 千葉大・医・第1内科 | 東条 静夫・成田 光陽…(75)
成田 静子・吉野 明昭
若新 政史・狩野 洋子
キッコーマン 附属病院 庚児・足立 愛二 |
| 41. 尿蛋白に関する研究 (第2報) 正常尿中の蛋白について | 九大・医・第3内科 | 富永喜久男・戸田 邦男…(78)
戸田 武二・平山 千里 |
| 42. Bence-Jones 型骨髄腫における β_{1E} -globulin の増量について | 大阪府立 立 稲井 真弥・平松 誠一…(79)
成人病センター 露口 泉夫
大阪大・微研 田辺 鎮雄 | |
| 43. BALB/C マウスにおける実験的異常免疫グロブリン血症 (第7報) | 東京慈恵医大・阿部内科 | 佐々木 勝久・鈴木 啓司…(79)
齊藤 裕子・橋本 信也
阿部 正和
鳥海 純 |
| 44. Rat におけるアレルギー性糸球体腎炎とネフロトキシン腎炎の免疫学的異同について (第1報・予報として) | 慶大・医・泌尿器科 | 中菌 昌明・大越 正秋…(80)
慶大・医・生理学 塚田 裕三 |
| 45. 細胞電気泳動法に関する研究 一ヒト血液及び滲出液中の細胞について一 | 信大・医・第1内科 | 戸塚 忠政・草間 昌三…(83)
松沢 良昭・田中 貴 |
| 46. 薄層ゲル透過法による血清蛋白分画法の臨床的応用 (第4報) 異常蛋白血症 | 日大・医・臨床病理 | 青木 紀生・竹中 道子…(84)
山田 秀雄・河合 忠
山岸 安子・大島 寿美子 |
| 47. 血清蛋白分画におよぼす長期凍結保存の影響 | 東京慈恵医大 第2生理学院 | 中野 昭一・佐藤 恒久…(85)
鈴木 克子・酒井 敏夫
川口 武藤 晃 |
| 48. 諸疾患と血清比粘度 | 金沢大・医・第2内科 | 村上 元孝・関本 博…(89)
井村 勲・竹内 功
柳田 誠 俊介 …(89) |
| 49. 多クローン性高 γ -グロブリン血症に関する研究 | 三重大・医・第3内科 | 柳田 誠 俊介 …(89) |
| 50. 白血病および悪性腫瘍における血清 Haptoglobin 型分布について | 岡山大・医・第2内科 | 田中 茂人・瀬崎 達雄…(91)
入野 昭三・平木 潔 |
| 51. 腹水患者に一過性に出現した所謂 Paraalbuminemia に関する電気泳動的検討 (続報) | 静岡県立中央病院 消化器科 | 武井 宏夫・前田 耕治…(93)
祖父江 鮮
大林 弘幸
鳥塚 莞爾・森 徹
京大・医・中央放射線科 中川 毅
京大・医・深瀬内科 |
| 52. 局所病変に伴う血清蛋白異常 | 金沢大・医・第2内科 | 村上 元孝・関本 博…(95)
安田 義顕・松田 迪夫
積良 愚・瀬尾 晃生
紺田 智久・大西 晃生 |
| 53. 肝疾患と血漿フィブリノーゲン | 九大・医・第3内科 | 平山 千里・福田 勉…(96)
第一製薬 K K 大塚 英徳
弓山 紀代子 |
| 54. 各種疾患における血清糖蛋白分画に関する研究 (3) ゲル泳動分画の変動 | 東京医歯大・中検・生化 | 坂岸 良克・西脇 惠美子…(97)
本間 けい子・加藤 浩子
大屋 磯子 |
| 55. 糖蛋白に関する研究 (第III報) | 佐々木 研 | 長瀬 すみ・斉藤 重野…(98)
水竹 彰子・安部 智世 |
| 56. α_2 -macroglobulin の臨床生化学的研究 | 札幌医大・第1内科 | 安斎 哲郎・森田 尊…(110)
田中 サイ子・谷内 昭
和田 武雄 |
| 57. 血漿ヘム結合性蛋白 hemopexin の定量と疾患時の変動 | 九大・医・第3内科 | 小鶴 三男・井上 国昭…(111)
栞屋 富一 |
| 第19回電気泳動学会総会印象記 | 日赤中央病院・第2外科 | 太中 弘 …(113) |
| [会 告] | | …(115) |

目 次

〔特別講演〕

等電点分画法による蛋白質の分画についての
私見: isoenzyme と編成能

阪 大・蛋 白 研 堀 尾 武一・松尾 雄志…(119)
酵 素 反 応 部 門 中 村 敏一

〔第 7 回電気泳動学会賞受賞講演〕

肝疾患と免疫グロブリン

九 大・医・第 3 内 科 平山 千里 …(127)

〔シンポジウム〕 血漿蛋白質の臨床

1. 血清膠質反応—とくに肝疾患について—
2. 血清蛋白分画の精度
3. 血清糖蛋白の臨床
4. α_2 -マクログロブリンの臨床
5. β -リポ蛋白の臨床
6. オーストラリア抗原

金 沢 大・医・第 1 内 科 若月寿之助 …(131)
京 大・医・中 検 富田 仁・西方 淳子…(137)
上 田 俊子
札 幌 医 大・第 1 内 科 谷内 昭・安斎 哲郎…(143)
岐 阜 大・医・第 1 内 科 安藤 宏・小島 峯雄…(149)
金 沢 大・医・第 2 内 科 益田 澄夫・岩城 紀男…(157)
関 本 博
東 大・医・輸 血 部 大河内一雄 …(165)

〔原 著〕

1. 免疫電気拡散法 (Immunoelectrodifusion) に
よる微量蛋白の定量に関する研究
2. ディスク泳動法による魚類および海生動物の
アルドラーゼの分析

岐 阜 大・医・第 1 内 科 乾 成美・松友 啓典…(173)
安藤 宏・小島 峯雄
林 幹夫・入山 等
吉田 健生・藤田 恒雄
加藤 杏子
山 口 大・医・生 化 学 竹尾 和典 …(185)

〔会 告〕

…(191)